

マチエール、再び?

デジタル技術で何でも出来てしまうのではないかと考えがちな今、手作業で物質的な素材を使って美術作業の意義とは何であるのか。

美術家ならいっつも感じていることだが、アイデアやヒントが浮かんだ時にそれを留めるのは何時も紙の上だということ。それが透き抜けない内にスケッチブックを開き、鉛筆を走らせる。頭の中のイメージに近づけるように手を動かし、ページをめくり何度も繰り返す。近いものできれば、色をけして形にする。そうした幾つものスケッチがあれば、大きな作品もままならぬのだ。スケッチブックは美術家自身にとつてとても重要であり、あるいは人に見せるべきでもない、その創作プロセスも公開を前提としていない。美術家たちは、スケッチをもとに、カンヴァスや絵具、筆、石膏、粘土といった道具や素材を使いこなし、絵画や彫刻を造る。その時に残るのが、筆遣いや手作業の痕跡である。いくらか上手く処理しても、その痕跡は消えることはない。我々はそれを「マチエール」と呼ぶとともに、鑑賞の対象として重視する。デジタルと近い手作業だからこそ残るもので、そこに高度な技術や偶然の面白さが表れている。美術作品とは、手と脳との協働作業によって生まれるものであり、その痕跡としてのマチエールの味付けが再び見直されつつある。創作プロセスにデジタル技術が介在する場合があっても、それだけが主役になることはないのである。

今回のGg展には、新しい仲間が加わるとともに、スケッチ的な小作品や創作プロセスの映像も公開する。それは、鑑賞者に観てもらいたいというよりも、美術家が自らの創作プロセスを見直し、もう一歩前に進ませたいとの思いからである。

谷藤史彦（ふくやま美術館相談員）

* Gg展は、2012年に高地・渋谷・長谷川・和田の4人によって結成され、仲間を増やし活動続けるグループ（Group gô）の展覧会である。

■岡孝博

1979年 広島県尾道市生まれ
2011年 東京藝術大学大学院先端芸術表現専攻研究修士修了
Re-A-広島市現代美術館(2007)、大地の芸術祭 越後妻有アートビエンナーレ(新潟)(2009)
波多野現代美術展(伊豆大島)(2011)、黒川和朗と黒川清(2015)
現在 新作協会会員

■高地 秀明

1955年 広島県尾道市生まれ
1979年 愛知県立芸術大学美術学部絵画専攻卒業
広島県美術館賞大賞受賞(1987)、天満屋福山店美術画廊展(2000)、ふくやま美術館展(2002)、イタリア・レカナーティ平和美術展(2006)、第9回春季二紀展後援美術展(2008)
第63回二紀同人展賞受賞(2009)、しぶや美術館新館展(2017)
現在 二紀会会員、広島大学名誉教授

■酒井一樹

1988年 広島県福山市生まれ
2013年 尾道市立大学大学院芸術研究科修士課程(油画)修了
小林和作助賞(2012)、グループ展「備後境Next」(Space懸る 2015,17,18)、二人展「たたいま〇〇中」(こちこ Comfort Gallery 画(2016)、展覧「あっここの」Gallery Bar夢囃(2017)
現在 無所属

■渋谷 清

1962年 東京都生まれ
1987年 東京芸術大学大学院教育研究科修士課程(絵画論)修了
銀座丸の内画廊(91,93,95,98/東京)、しぶや美術館(95,97/福山)、成羽町美術画廊(96/岡山)、ギャラリー福山(97,99,103,05,06,08,10,12,13/東京)、池田画(98/東京)、ギャラリー・エスプリ・ヌーボ(09,02/岡山)、Galeria Punto (16/兵庫)、Shonandai MY Gallery (16/東京) などで展覧開催
現在 無所属、福山市立大学教授

■瀬尾 佳枝

1976年 広島県福山市生まれ
1999年 名古屋芸術大学美術学部彫刻学科卒業
白展初入選(1998) 白展初入選(1999) 白展佳作賞(2000)
現在 白白会会長、東部美容専門学校、高等学校講師

■道真理子

1984年 大府市生まれ、後に広島県に移住
2008年 名古屋芸術大学美術学部洋画コース卒業
2011年 独立展初入選、尾道市美術教育委員会賞
現在 無所属、広島県立可部高等学校教諭

■長谷川 雅哉

1956年 広島県福山市生まれ
1979年岡山大学教育学部特別科美術・工芸教員養成課程卒業
東光展初入選(1979)、東光展「東光賞」受賞(1983)、広島県美術3回賞 無鑑賞(1990)、日展初入選(1994)、修徳館展(2009)、東光展「会員賞」受賞(2011)、東光会賞賞品推薦(2016)
現在 東光会会員、広島県立三原高等学校教諭

■横野仁史

1982年 熊本県生まれ
2007年 尾道市立大学大学院芸術研究科修士課程(油画)修了
展覧「Fog」(福山天満屋2017)、「HIBI」(尾道市立大学美術館2014,2012,2010,2008)「横野仁史-穴田裕幸二人展」(GALLERY M.A.P.2010)、「尾道からの3人展」(アートガーデン2008)など、第82回国際 絵画賞奨励賞、第88回国展 会友賞
現在 国画会準会員、尾道市立大学美術学科学講師

■花園 寿一

1968年 広島県尾道市生まれ
1992年 名古屋芸術大学卒業
一枚の絵ギャラリー (銀座2006-)、しぶや美術館(福山)などで展覧開催、光陰展安田火災財団奨励賞(2000)、絵の現在展後援金賞(2005)しんぶ美術展ランダム! (2005)
現在 光陽会会員、福山YMCA芸大受験予備校主任講師

■原 夕希子

1987年 広島県福山市生まれ
2011年 尾道市立大学大学院芸術研究科修士課程(油画)修了
展覧:「ギャラリーひらた(2009-2010)」、「Space懸る(2013)グループ展:Space懸る(2013以降毎年)」、「アカリ画廊(2017)」、「第三回大美術フェア(2018) 受賞展:第27回ベルベイン・スカラシップ奨学生、第五回ヴァーナ大賞、宮田会賞
現在 無所属

■牧原 竜造

1976年 広島県広島市生まれ
2005年 広島市立大学大学院芸術研究科博士後期課程単位取得満期退学
2001年〜グループ展「RUBICON展」(天満屋広島八丁/福山/広島、東邦アート/東京・銀座)
「第1回、第2回赤木美術館大賞展」入選(赤木美術館/千葉2013, 2016)
現在 無所属、広島大学附属福山中・高等学校教諭

■和田 道雄

1960年 広島県福山市生まれ
1986年 東京芸術大学大学院教育研究科修士課程(絵画論)修了
1997年〜ギャラリー・セイジ・監製/フタノ画廊(以上東京)しぶや美術館(福山)などで展覧開催
広島県美術奨励賞(1993,第47回回賞)、公募「広島県美術展」(広島市現代美術館2003)等受賞
現在 独立美術協会準会員、広島県立福山誠之館高等学校教諭



第6回 Gg 展ギャラリーレポート

- 第7回 Gg 展
- 会期: 2018年5月8日(火)〜5月13日(日)
- 開館時間: 9:30〜17:00 [最終日は16:30まで]
- 入場無料
- 会場: ふくやま美術館 ギャラリー
〒720-0067 広島県福山市西町2丁目4-3
- 問い合わせ先: グループ・グー代表 和田道雄
TEL: 090-4142-9881
- アクセス: JR福山駅北口より西へ約400m
- 出品作家と美術館学芸員によるギャラリートーク
5月12日(土) 15:00〜16:00 ギャラリー内



○ Gg 展 blog

出品作家の情報、展示案内など随時更新いたします。
URL: groupgou.blogspot.com

○ インスタグラムでは「Gg_fukuyama」で検索

○ Facebook では「グループ・グー」で検索



近日開催のご案内

Gg2 展

〜11の視点〜

2018年6月6日(水)〜11日(月)

福山天満屋 6階 美術画廊

展覧時間 15:00〜18:00